



POWER DRIFT

ORIGINAL SOUNDTRACK

POWER DRIFT(ARCADE ver.)

<i>TRACK 1</i>	<i>CREDIT</i>
<i>TRACK 2</i>	<i>Poker Face (OPENING)</i>
<i>TRACK 3</i>	<i>Side Street (A COURSE)</i>
<i>TRACK 4</i>	<i>Like The Wind (B COURSE)</i>
<i>TRACK 5</i>	<i>Silent Language (C COURSE)</i>
<i>TRACK 6</i>	<i>Adjustment Mind (D COURSE)</i>
<i>TRACK 7</i>	<i>Artistic Traps (E COURSE)</i>
<i>TRACK 8</i>	<i>Diversity (NAME ENTRY)</i>
<i>TRACK 9</i>	<i>Not Use</i>

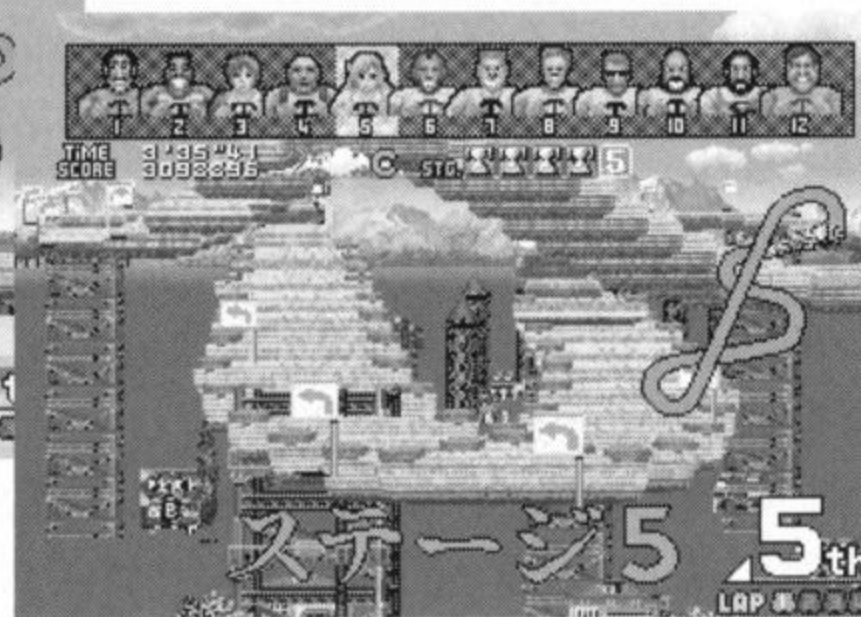
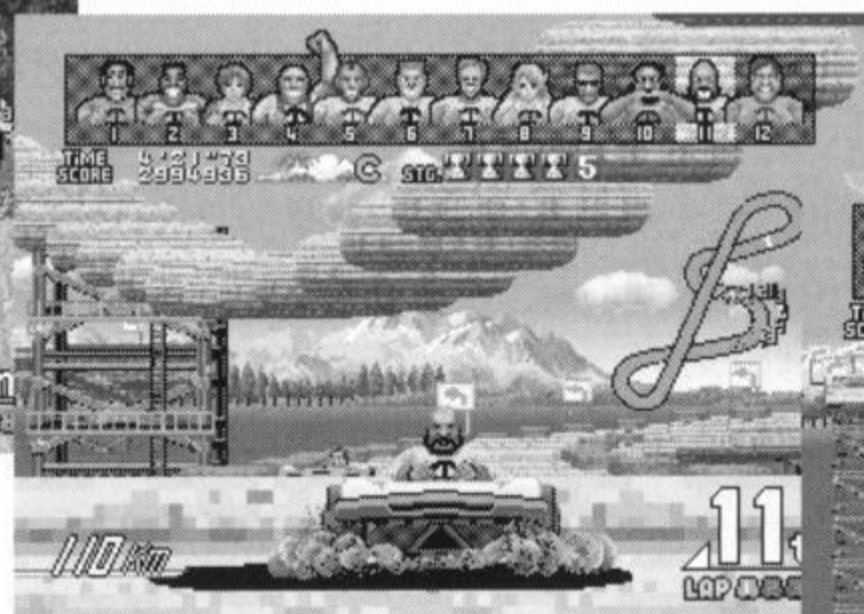


Cabinet Specifications

<i>Outer Dimensions</i>	<i>205cm(D)</i>
	<i>123cm(W)</i>
	<i>168cm(H)</i>
<i>Weight</i>	<i>320kg</i>
<i>Monitor</i>	<i>26inch</i>
<i>Speakers</i>	<i>10cm/15Wx2</i>
<i>Power Supply</i>	<i>100V AC /500W</i>

POWER DRIFT

ORIGINAL SOUNDTRACK



POWER DRIFT(PROTOTYPE ver.)

TRACK 10 *Side Street*

POWER DRIFT(SEGASATURN ver.)

TRACK 11 *Poker Face (Super Arrange)*
TRACK 12 *Side Street (Super Arrange)*
TRACK 13 *Like The Wind (Super Arrange)*
TRACK 14 *Silent Language (Super Arrange)*
TRACK 15 *Adjustment Mind (Super Arrange)*
TRACK 16 *Artistic Traps (Super Arrange)*
TRACK 17 *Diversity (Super Arrange)*

BONUS TRACK

TRACK 18 *Silent Language2011 (Special Arrange)*

パワードリフト復活

と言うわけで、『パワードリフト オリジナルサウンドトラック』が発売されました！

お買い上げの皆様、有り難うございます。

それにしても何の捻りもないこのCDタイトル...、まあ、分かりやすいって言えばそうなのだが...

さて、パワドリと言えばバギーに乗り込み高低差のあるコースをもの凄いスピードでぐるぐる回る1988年に発売されたドライブゲームだ。いや〜、懐かしいねえ。

楽曲はどれもロックを基調とした激しめの曲で、スピード感溢れる画面に負けないパワーを醸し出している。これらの音源は過去にも何度かCD化されているが、今回の収録は最新技術を駆使して再収録されているため、過去に発売されたどの音源よりクリアで原音のパワーを引き出している。

それでは、ここで作曲当時を思い出して各楽曲の紹介をしてみよう！

Track 2 Poker Face

チョッパーベース(今で言うスラップ奏法)とブラスをフィーチャーしたキャラセレクト時に流れる楽曲だ。

このベース音と途中メロに使われているSAX音はサンプリング音源を使用している。しかしこの時代、サンプリング再生音階分解性能が低いため、FM音源と微妙にピッチがずれている(と言うか合わせられない)...。まあ、そこは味ってことで。

Track 3 Side Street

リズムとギターが8ビートを刻む中、哀愁誘うメロが歌う当時王道の楽曲だ。このギターもサンプリング音源なのだが、低音部分は比較的分解性能が高いのであまりピッチのズレは感じない。途中シンセソロが楽曲に変化を与えている。最近ではインストでこういうソロが入った楽曲は珍しい。

Track 4 Like The Wind

マイナーのAメロとメジャーのサビメロを持つこの曲はパワードリフトを代表する楽曲。

プロジェクトの初期に出来上がった曲と記憶しているが、ギターフレーズは最終形になるまでに何度も手直しが入っている。

Track 5 Silent Language

8分3連(はちぶさんれん)を基本としたパワフルなナンバー。ベースの動きも極力単調にして力強さを醸し出している。

この曲、制作時にはメロを入れようと思っていたのだが、なかなかハマるメロができず結局メロ無しのままリリースしている。

その後アレンジバージョンでメロを入れた物(Track 14)を出したのだが、今聞いてみるとこれまたシックリこない...

と言うことで今回はメロ無しとしてアレンジしている。

Track 6 Adjustment Mind

わかりやすいシーケンスフレーズで始まるこの曲は「AFTER BURNER」を彷彿させる。

ギターのパワフルなコード進行とリズムだけで強引に押し進める楽曲はある意味斬新だ。

Track 7 Artistic Traps

「Like The Wind」と同系統で、メロディーのはっきりした楽曲だ。当時の音源にはエフェクターになるDSPとかもちろん搭載されていないので、メロディーを3チャンネル使ってディレイ部分を再生している。そのため広がり感のあるメロディーになっているのだ。

Track 8 Diversity

まるでシューティングのボス戦に流れてきそうな曲だが、ネームエントリーです。

シーケンスに使われている音もサンプリング音。なのでFM音源では再現できません。

それと今回はオマケとして、新たなアレンジ曲『Silent Language 2011(Special Arrange)』を収録してます！

「Like The Wind」は他にも色々アレンジされているので、あえて今回は『Silent Language』を選択。

20年以上も前に作った曲をアレンジするってのもなかなかできない経験だが、過去に自分が組み立てた音符を解析して作り直す作業はとても楽しい！

全ての音を「今風」に変えてあるが、原曲を大きく逸脱することないベクトルでのアレンジにしてみた。

前に一度アレンジしたときはメロディーを加えたのだが、今回はあえてそれを削除。

前回のアレンジの時(Track 14)は何となく物足りない感じがしたのと、作曲当初にメロを断念したこともあったので入れてみたが、

やはり原曲に無いメロは無しで！っていうコンセプトでアレンジしました。

ちなみに今回のアレンジでは全体にわたって原曲の音源がMIXされています。

良い感じにざらついた感じとパワーが注入されています。

これはこれでカッコいいアレンジに仕上がったと思うので是非楽しんで頂きたい。

あと更に特別付録として、ゲームROMには入っているけど使われていない未使用ループ曲(多分なにかのテスト用に入れたもの)と、

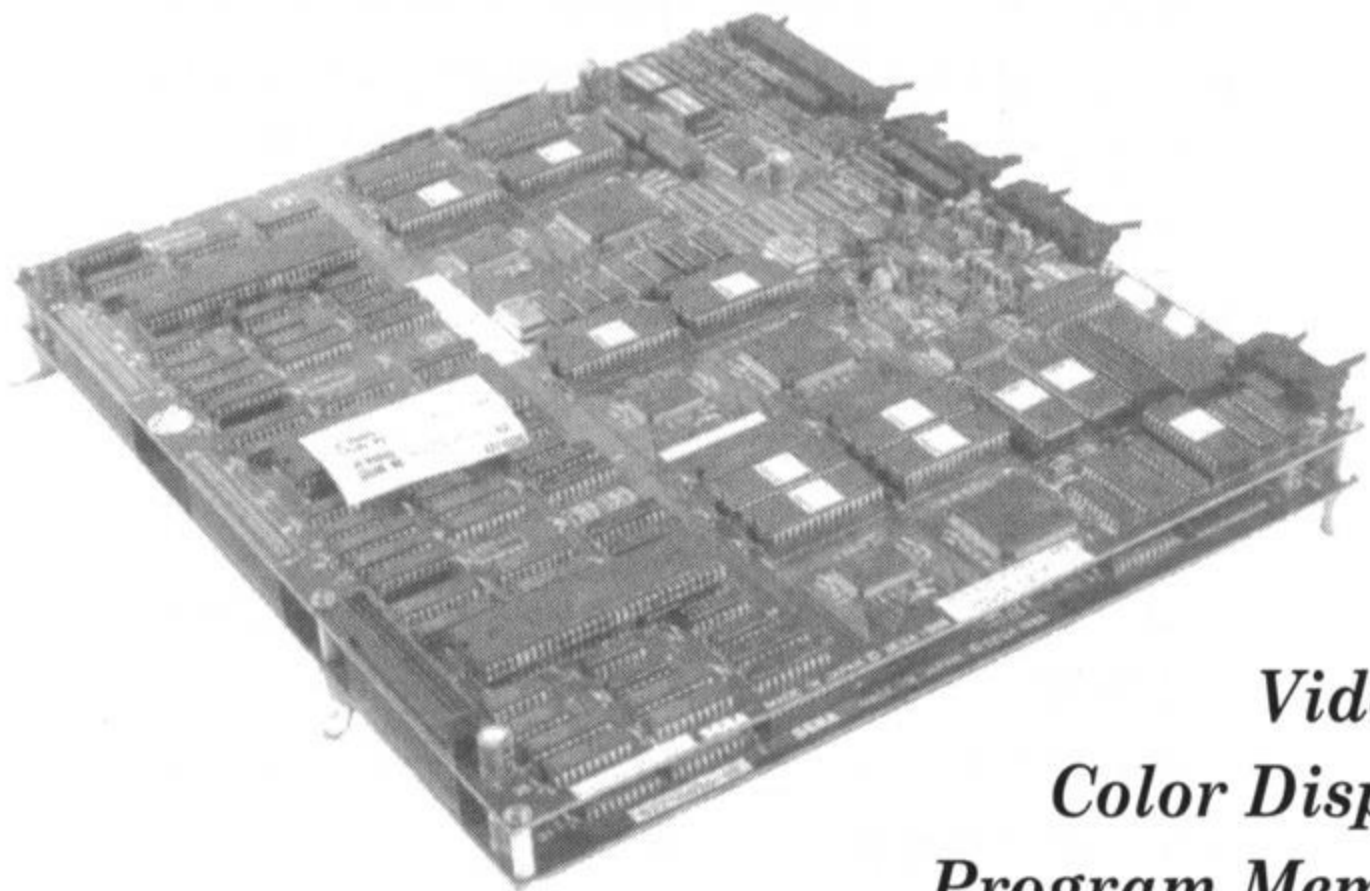
「Side Street」のギターリフを入力するために自分でギターを弾いているバージョンが過去のDATテープから発掘されたので、それも収録しておいた(Track 10)。

ゲームボードに入力される前のシーケンスデータなので微妙にメロとかソロとか違ってたりギターがへたくそだったりして面白。

それでは、ご堪能下さいませ！

Hiro

Y-Board Specifications



<i>Main CPU</i>	<i>MC68000 x 3</i>
<i>Sound CPU</i>	<i>Z80</i>
<i>Sound Chip</i>	<i>YM2151+Sega PCM</i>
<i>Video Resolution</i>	<i>320 x 224</i>
<i>Color Display Capacity</i>	<i>32,000 colors</i>
<i>Program Memory Capacity</i>	<i>1MB</i>
<i>Graphic Memory Capacity</i>	<i>4.5MB</i>

※仕様は「パワードリフト」のものです。

『パワードリフト』に使用されているハードウェアは「Yボード」と呼ばれるシステム基板。その起源は古く『ハングオン』までさかのぼる。『アフターバーナー』などで使われた「Xボード」をベースとし、バージョンアップを重ねてこのCPU3個という贅沢な仕様までたどり着いた。この時期のセガ特有の迫力あふれる3D演出の数々は、Yボードの圧倒的なスプライト処理能力によるもの。サウンドはFM音源8音を同時発声するYM2151(いわゆるOPM)と、PCM音源を搭載し、サウンドコントロール用CPUにZ80を別途搭載する。

POWER DRIFT

ORIGINAL SOUNDTRACK

STAFF

Original Music by SEGA

Producer Kenji Tsujisaka (WAVE MASTER)

A&R Yosuke Okunari (SEGA)

Commentary Hiro (SEGA)

Mastering Studio TRC SOUTH

Mastering Engineer Hiroshi Shiota (TRC SOUTH)

Designer Riichiro Abe (SPROCKET)

Promoter Tetsuo Sasaki (SEGA)

Licensing Makoto Matsui (SEGA)

*SPECIAL THANKS to Yoshihiro Ito (SEGA)
(BUN)*

Ikeda minorock (INH)

Kinomoto Mai'n

Munetatsu Matsui (enterbrain)

Room 903

Room 307

Shigeharu Isoda (WAVE MASTER)

Executive Producer Fumitaka Shibata (WAVE MASTER)

